

時の動き

2015年、安倍内閣打倒めざし総決起を！

『月刊まなぶ』企画編集委員 江原 栄昭（新社会党中野総支部）



安倍首相が仕掛けた年末の謀略的衆議院選挙が終わり、はや一カ月余、通常国会が始まっている。「アベノミクス」の継続で景気回復“というワンフレーズを選挙争点にする狡猾戦術で有権者を欺瞞し、幻想を抱かせ多数を制した。しかし、比例区得票率は全有権者の17%にすぎない。

安倍・自公政権の衆院解散総選挙の狙いは明らか！ 政権の延命と日本の針路の転換。安倍政治を根底から拒否し、内閣打倒へ総力を挙げよう！

安倍政治の悪政の実体を暴き、政権打倒へ反撃開始を！ 我々の政治闘争の最大争点は、安倍・自民党に「国

形を変えさせない」、こと！ 安倍・自民党が目論む日本の針路転換を許さない！

——安倍の狙いは、「戦争のできる『軍事・経済大国』への転換——それはまた「戦争なしでは生きていけない国」への道でもある

国民の信任を得たと豪語

日本の政治は、衆議院選挙で大勝した自民、公明を与党とする安倍政権が継続する。安倍・自民党が掲げた選挙公約では「戦争をする国」めざした一連の改憲路線を言葉巧みに表現してい

るが、「集团的自衛権行使の閣議決定」など、今後の日本の針路を根底から覆す（国の形の転換）が隠されている。選挙で多数議席を得た今、安倍首相は当面の諸課題について国民の信任を得たと豪語している！

だが、安倍・自民党の得た票は、小選挙区で全有権者の24%、比例区では17%に過ぎない！ 棄権は白紙委任ではない！ 「信任を得た」などは独りよがりの独裁者の暴論である。断じて許せない！

しかし、衆参で圧倒的多数を有する安倍政権は「この道を進める」として暴走に拍車がかかる。原発の再稼働や軍事産業支援・武器輸出を公然化し、

「集团的自衛権行使」や憲法改悪まで視野に入れている。任期は4年ある。

15年からの政治闘争は、平和国家日本の存亡を賭け、憲法の三原則を守るための過酷で厳しく且つ激しい戦いを避けてはとれない。

我々働く者や中小企業や商工業者などにとつては自らの人権を守る闘いと共に国民全体の命とくらしを守り、日本とアジアの平和を構築する闘いを目的意識的に追求しなければならない。

新しい年を迎え、反撃開始！

安倍内閣打倒の戦いを！

闘争課題、10の柱

①安倍政権は2013年12月6日に各界各層の反対を押し切つて、国民の言論封殺をめざして「特定秘密保護法」を強行可決し、14年12月10日に施行した。

— 廃止の戦いを！

②2014年7月1日には、集团的自衛権行使容認を閣議決定した。

— 認めない戦いを！

③自治体選挙後には「日米ガイドライン」の改定が行われる。狙いの一つ、閣議決定した「集团的自衛権の行使容認」が盛り込まれる。

— 拒否する大衆闘争を！

④集团的自衛権の行使を可能とするためには、「自衛隊法」改正など20本近い法律の改正が必要だ。国会での議論の形骸化が危惧される。

— 「戦争参加絶対反対」、国会内外の戦いで断固阻止！

⑤安倍政権は軍事産業を育成強化し武器輸出を拡大する。

— 武器輸出反対の戦いを！

⑥安倍政権は沖縄辺野古への基地建設の強行を図り、米日によるアジア制覇戦略拠点化を目論む。

— 沖縄県民に連帯し、断固粉碎の戦いを！

⑦安倍政権は原発を再稼働させ、海外

輸出を強化する。

— 再稼働を許さない戦いを！

⑧安倍政権は「アベノミクス」を継続強化し、消費税を10%に引き上げ、更なる大企業擁護、労働者使い捨て政策（派遣法改悪）を推進し、日本経済と庶民のくらしを破壊する。

— 「アベノミクス」の欺瞞・幻想を暴く戦いを！

⑨安倍政権の本質は大都市集中、大企業優先、男性社会継続等で地方の過疎化と格差拡大をもたらす。「地方創生」や「女性が輝く」などは虚構だ。

— 安倍政治の本質を暴く戦いを！

⑩安倍政権はTPPで米国に屈し、日本の農山村（農業、林業、漁業）を崩壊させる。

— 日本の社会構造破壊を許さない戦いを！

安倍内閣打倒めざして

共同戦線を構築しよう

（えはら ひであき 2015・3月記）